



DIGITAL HEARTS HDGS.



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

東

上場会社名 株式会社デジタルハーツホールディングス 上場取引所
 コード番号 3676 URL <https://www.digitalhearts-hd.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 CEO (氏名)玉塚 元一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 CFO (氏名)筑紫 敏矢 (TEL)03(3373)0081
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 平成30年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	9,333	13.0	777	△22.5	754	△25.2	508	△24.6
30年3月期第2四半期	8,263	8.8	1,003	14.3	1,008	7.8	674	20.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 971百万円(49.7%) 30年3月期第2四半期 649百万円(22.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	23.32	22.47
30年3月期第2四半期	31.02	29.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	9,423	4,536	46.0
30年3月期	8,575	3,570	39.3

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 4,331百万円 30年3月期 3,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	5.50	—	6.00	11.50
31年3月期	—	6.50	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	21.0	2,200	26.7	2,224	24.8	1,533	27.7	70.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名)株式会社エイネット、除外 1社 (社名)EVO Japan 実行委員会有限責任事業組合

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年3月期2Q	23,890,800株	30年3月期	23,890,800株
31年3月期2Q	2,016,206株	30年3月期	2,097,422株
31年3月期2Q	21,813,349株	30年3月期2Q	21,740,687株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)の5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成30年11月12日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(追加情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	平成30年3月期 第2四半期 (千円)	平成31年3月期 第2四半期 (千円)	前年同四半期 増減率 (%)
売上高	8,263,166	9,333,656	13.0
営業利益	1,003,532	777,640	△22.5
経常利益	1,008,813	754,757	△25.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	674,390	508,781	△24.6

当社グループを取り巻くデジタル関連市場においては、インターネット環境の飛躍的な進展やスマートデバイスの普及拡大等を背景に、コンテンツやサービスの多様化が急速に進んでいます。その一方、各企業においては、その開発及び運営を支えるIT人材が慢性的に不足していることから、ソフトウェアの開発・テスト・プロモーション等の支援サービスを提供している当社グループの収益機会も、今後も引き続き拡大するものと見込んでおります。

このような状況のもと、当社グループでは、「アジアNo.1の総合テスト・ソリューションカンパニー」となることを目指し、主力のエンターテインメント事業においては、デバッグサービスを中心に競争優位性のさらなる向上に努めるとともに、成長分野として位置付けるエンタープライズ事業においては、システムテストサービスを中心に、第二の収益の柱に育てるべく、事業拡大を推進しております。

当第2四半期連結累計期間においては、エンタープライズ事業のITサービス・セキュリティサービスが前年同四半期比2倍以上の成長を実現するなど、好調に推移したことにより、売上高9,333,656千円(前年同四半期比13.0%増)となりました。一方、利益につきましては、エンタープライズ事業において実施した人材をはじめとする積極的な先行投資やエンターテインメント事業におけるアミューズメント機器向けのデバッグサービスの大幅な減収等の影響により、営業利益は777,640千円(前年同四半期比22.5%減)、経常利益は754,757千円(前年同四半期比25.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は508,781千円(前年同四半期比24.6%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

	平成30年3月期 第2四半期 (千円)	平成31年3月期 第2四半期 (千円)	前年同四半期 増減率 (%)
売上高	8,263,166	9,333,656	13.0
エンターテインメント事業	7,603,908	7,874,403	3.6
エンタープライズ事業	767,293	1,459,350	90.2
調整額	△108,035	△97	—
営業利益又は営業損失	1,003,532	777,640	△22.5
エンターテインメント事業	1,644,510	1,511,692	△8.1
エンタープライズ事業	△38,961	△119,624	—
調整額	△602,017	△614,427	—

なお、各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しており、セグメント利益又は損失は営業利益ベースとなっております。

① エンターテインメント事業

当セグメントでは、主に、コンソールゲーム、モバイルゲーム、アミューズメント機器のデバッグ、ゲームの受託開発、プロモーション活動支援等のサービスを提供しております。

エンターテインメント事業におけるサービス別の売上高は以下のとおりであります。

	平成30年3月期 第2四半期 (千円)	平成31年3月期 第2四半期 (千円)	前年同四半期 増減率 (%)
デバッグ	6,596,605	6,393,030	△3.1
クリエイティブ	735,440	1,073,291	45.9
メディア及びその他	271,862	408,081	50.1
エンターテインメント事業 合計	7,603,908	7,874,403	3.6

(i) デバッグ

デバッグサービスでは、主に、コンソールゲーム、モバイルゲーム、アミューズメント機器を対象に、ソフトウェアの不具合をユーザー目線で検出し顧客企業に報告するサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間は、モバイルゲーム向けのサービスにおいて、顧客企業と強固な関係を構築することで、引き続き運営フェーズを中心に増加するデバッグ需要を確実に獲得し、大幅な増収を達成致しました。その一方、アミューズメント機器向けのサービスにおいては、平成30年2月に施行された規制強化の影響により、市場全体が低調に推移しており、各メーカーにおいては、新規則に対応した遊技機の開発が徐々に進んでいるものの、デバッグ需要はこれから新台開発の端境期により大幅に減少致しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のデバッグサービスの売上高は6,393,030千円(前年同四半期比3.1%減)となりました。

(ii) クリエイティブ

クリエイティブサービスでは、ゲーム開発や2D/3Dグラフィック制作等、コンテンツ制作におけるクリエイティブ領域全般にわたる制作サポートサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間は、技術力の高い人材の確保・育成に注力し、サービス品質の向上に努めた結果、継続的なゲーム開発案件に加え、新規案件の獲得も順調に進み、好調に推移致しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のクリエイティブサービスの売上高は1,073,291千円(前年同四半期比45.9%増)となりました。

(iii) メディア及びその他

メディア及びその他サービスでは、日本最大級の総合ゲーム情報サイト「4Gamer.net」等の運営やカスタマーサポートサービス等を提供しております。

当第2四半期連結累計期間は、主に「4Gamer.net」において、独自取材による付加価値の高い情報のスピーディな配信に努め、メディアとしての価値の向上を図って参りました。また、前期より新たに開始したカスタマーサポートサービスでは、順調に案件を獲得し、好調に推移致しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のメディア及びその他サービスの売上高は408,081千円(前年同四半期比50.1%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のエンターテインメント事業の売上高は、7,874,403千円(前年同四半期比3.6%増)となりました。セグメント利益は、アミューズメント機器向けのデバッグサービスの大幅な減収の影響を受け、1,511,692千円(前年同四半期比8.1%減)となりました。

② エンタープライズ事業

当セグメントでは、主に、エンタープライズシステムを対象とするシステムテスト及び受託開発サービスや、ITサポート、セキュリティ等のサービスを提供しております。

エンタープライズ事業におけるサービス別の売上高は以下のとおりであります。

	平成30年3月期 第2四半期 (千円)	平成31年3月期 第2四半期 (千円)	前年同四半期 増減率 (%)
システムテスト	345,512	545,865	58.0
ITサービス・セキュリティ	421,781	913,484	116.6
エンタープライズ事業 合計	767,293	1,459,350	90.2

(i) システムテスト

システムテストサービスでは、主に、エンタープライズシステムの不具合を検出するサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間は、顧客ニーズを的確に捉えたサービスの拡充を図るとともに、積極的な営業活動を展開することで、新規顧客企業の開拓及び既存顧客との取引拡大を実現致しました。また、医療系システムのテストに強みを持つ株式会社エイネットの子会社化や、テストエンジニアの教育に強みを持つバルテス株式会社等、他社とのアライアンスの積極的な活用を通じ、サービス品質の要となる上流エンジニアの確保・育成に努めて参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のシステムテストサービスの売上高は545,865千円(前年同四半期比58.0%増)と大幅な増収を達成致しました。

(ii) ITサービス・セキュリティ

ITサービス・セキュリティサービスでは、システムの受託開発やITサポート、セキュリティ等のサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間は、東日本電信電話株式会社との協業により、ネットワーク回線の開通からセキュリティ運用までワンストップで提供できる体制を構築するとともに、米国セキュリティベンチャー2社との協業等を通じ、新サービスの拡充に努めて参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間のITサービス・セキュリティサービスの売上高は913,484千円(前年同四半期比116.6%増)と好調に推移致しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のエンタープライズ事業の売上高は、1,459,350千円(前年同四半期比90.2%増)と前年同四半期比約2倍の成長を実現致しました。セグメント損失は、専門人材をはじめとする積極的な投資を実施したことにより、△119,624千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産の残高は6,653,786千円となり、前連結会計年度末における流動資産6,732,753千円に対し、78,966千円の減少(前期比1.2%減)となりました。

これは、主として現金及び預金が126,975千円減少したことによるものであります。

固定資産の残高は2,769,425千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,842,533千円に対し、926,891千円の増加(前期比50.3%増)となりました。

これは、主として、のれんが303,565千円増加したことによるものであります。

(負債)

流動負債の残高は3,708,789千円となり、前連結会計年度末における流動負債3,929,183千円に対し、220,394千円の減少(前期比5.6%減)となりました。

固定負債の残高は1,177,536千円となり、前連結会計年度末における固定負債1,075,971千円に対し、101,565千円の増加(前期比9.4%増)となりました。

(純資産)

純資産の残高は4,536,886千円となり、前連結会計年度末における純資産3,570,132千円に対し、966,754千円の増加(前期比27.1%増)となりました。

これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が508,781千円増加し、自己株式を処分したことにより純資産が93,127千円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、3,732,381千円となり、前連結会計年度末における資金3,894,356千円に対し、161,975千円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は315,494千円(前年同四半期は858,181千円の収入)となりました。

これは、主として税金等調整前四半期純利益734,133千円等の資金増加項目が、法人税等の支払額243,769千円等の資金減少項目を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は449,629千円(前年同四半期は332,326千円の支出)となりました。

これは、主として子会社株式の取得による支出309,972千円及び事業譲受による支出96,887千円等の資金減少項目によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は40,081千円(前年同四半期は152,831千円の支出)となりました。

これは、主として配当金の支払額131,692千円等の資金減少項目によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、概ね計画どおり推移しており、現時点において平成30年5月11日付けで「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表しました業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,894,356	3,767,381
受取手形及び売掛金	2,480,648	2,500,177
たな卸資産	14,924	32,660
その他	357,228	370,965
貸倒引当金	△14,404	△17,397
流動資産合計	6,732,753	6,653,786
固定資産		
有形固定資産	473,564	477,728
無形固定資産		
のれん	150,368	453,933
その他	136,486	169,024
無形固定資産合計	286,854	622,957
投資その他の資産		
投資有価証券	268,293	913,330
その他	814,095	755,559
貸倒引当金	△274	△151
投資その他の資産合計	1,082,114	1,668,738
固定資産合計	1,842,533	2,769,425
資産合計	8,575,286	9,423,211
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,600,000	1,700,000
未払費用	986,180	793,549
未払法人税等	259,408	303,617
賞与引当金	64,227	117,580
その他	1,019,367	794,040
流動負債合計	3,929,183	3,708,789
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,017,200	1,017,200
その他	58,771	160,336
固定負債合計	1,075,971	1,177,536
負債合計	5,005,154	4,886,325

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,686	300,686
資本剰余金	331,729	366,598
利益剰余金	5,113,524	5,480,830
自己株式	△2,405,036	△2,311,908
株主資本合計	3,340,904	3,836,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,679	466,704
為替換算調整勘定	25,972	28,820
その他の包括利益累計額合計	28,652	495,524
新株予約権	—	13,363
非支配株主持分	200,575	191,791
純資産合計	3,570,132	4,536,886
負債純資産合計	8,575,286	9,423,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	8,263,166	9,333,656
売上原価	5,784,605	6,680,661
売上総利益	2,478,561	2,652,995
販売費及び一般管理費	1,475,029	1,875,355
営業利益	1,003,532	777,640
営業外収益		
受取利息	400	38
投資事業組合運用益	5,952	1,335
助成金収入	5,462	18,996
その他	4,996	1,518
営業外収益合計	16,812	21,888
営業外費用		
支払利息	1,475	1,372
持分法による投資損失	1,655	4,127
為替差損	597	1,620
支払手数料	—	12,899
自己株式取得費用	6,092	—
和解金	—	24,041
その他	1,710	709
営業外費用合計	11,531	44,771
経常利益	1,008,813	754,757
特別利益		
固定資産売却益	2,112	—
投資有価証券売却益	—	30,634
特別利益合計	2,112	30,634
特別損失		
事務所移転費用	—	8,492
事業整理損	25,358	—
事業撤退損	—	42,767
特別損失合計	25,358	51,259
税金等調整前四半期純利益	985,567	734,133
法人税、住民税及び事業税	342,815	253,921
法人税等調整額	△4,774	△24,909
法人税等合計	338,040	229,011
四半期純利益	647,526	505,121
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△26,863	△3,660
親会社株主に帰属する四半期純利益	674,390	508,781

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	647,526	505,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,448	464,024
為替換算調整勘定	4,103	2,683
その他の包括利益合計	1,655	466,708
四半期包括利益	649,181	971,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	675,425	975,654
非支配株主に係る四半期包括利益	△26,243	△3,825

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	985,567	734,133
減価償却費	108,273	64,685
のれん償却額	37,743	50,864
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,017	2,773
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,910	34,984
受取利息及び受取配当金	△400	△38
事務所移転費用	—	8,492
事業整理損	25,358	—
事業撤退損	—	42,767
株式報酬費用	37,199	69,198
支払利息	1,475	1,372
為替差損益(△は益)	△2,326	394
持分法による投資損益(△は益)	1,655	4,127
投資事業組合運用損益(△は益)	△5,952	△1,335
固定資産売却損益(△は益)	△2,112	—
売上債権の増減額(△は増加)	△238,950	10,843
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,005	△17,440
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△30,634
和解金	—	24,041
未払金の増減額(△は減少)	25,706	△190,961
未払費用の増減額(△は減少)	177,437	△222,221
未払消費税等の増減額(△は減少)	△33,447	△21,068
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△26,008	8,653
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△191,520	15,206
その他	17,032	△19,400
小計	927,652	569,438
利息及び配当金の受取額	397	38
利息の支払額	△1,475	△1,372
法人税等の支払額	△348,848	△243,769
法人税等の還付額	290,979	8,361
事務所移転費用の支払額	—	△8,492
事業整理損の支払額	△10,523	—
事業撤退損の支払額	—	△8,709
営業活動によるキャッシュ・フロー	858,181	315,494
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△75,963	△36,816
有形固定資産の売却による収入	2,112	—
無形固定資産の取得による支出	△10,706	△81,680
投資有価証券の取得による支出	△108,734	—
投資有価証券の売却による収入	—	30,634
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△309,972
事業譲受による支出	—	△96,887
投資事業組合からの分配による収入	7,800	11,880
敷金及び保証金の差入による支出	△184,331	△10,097
敷金及び保証金の回収による収入	37,462	43,290
その他	34	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△332,326	△449,629

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	1,200,000
短期借入金の返済による支出	△1,000,000	△1,100,000
長期借入金の返済による支出	△33,460	—
非支配持分の出資による収入	45,000	—
配当金の支払額	△132,787	△131,692
非支配株主への配当金の支払額	△20,034	△20,034
非支配株主への清算分配金の支払額	—	△1,919
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△10,389	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	1,400
リース債務の返済による支出	△1,160	△1,199
新株予約権の発行による収入	—	13,363
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,831	△40,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,083	2,246
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	361,939	△171,970
現金及び現金同等物の期首残高	3,344,688	3,894,356
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	9,994
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,706,628	3,732,381

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成30年7月20日開催の取締役会において、当社の取締役等に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式を81,216株処分を行うことを決議し、実施致しました。自己株式が93,127千円減少し、資本剰余金が34,869千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の残高は、資本剰余金366,598千円、自己株式2,311,908千円となっております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。